

『感謝』の気持ちと『技術』で応える

感動につながる仕事づくり



70年のあゆみ

総合建設業

砺波工業株式会社

目 次

ご 挨 拶	1
70年のあゆみ	2
第1章 「1944～1953」 創業 企業合同、敗戦、再出発	
第2章 「1954～1963」 富山県の代表的な建設会社を目指して	
第3章 「1964～1973」 総合建設業への道	
第4章 「1974～1983」 全員経営の企業へ	
第5章 「1984～1993」 完工高100億円の時代を迎え、バブル経済とともに	
第6章 「1994～2003」 バブル崩壊、熾烈な企業間競争	
第7章 「2004～2014」 デフレ経済、天災、そして未来へ	
役員在任年表	16
売上高の推移	17
近年10年間ににおける主な完成工事	18
土 木	
建 築	
経営理念・主な表彰記録	20
社歌・会社概要	21

COLUMN	
12人の発起人と砺波工業株式会社	2
初代社長 中嶋桑次氏	3
砺友会の設立	4
第5代社長 上田豊信氏	5
創立20周年 社是と松村謙三代議士	7
鉄工場から株式会社トナミ鉄工へ	8
第6代社長 石崎 弘氏	9
大工事、難工事と現場社員	10
フローティングドック「立山6500-1」建造	12
新幹線と当社	14

A decorative image on the left side of the page featuring a close-up of several tulips in shades of red, orange, and yellow, set against a clear blue sky with light, wispy clouds. The tulips are in various stages of bloom, with some showing the green stems and leaves.

ご挨拶

政府の命により、企業の合理化を目指した企業統合令で、戦争の局面も芳しくない状況の中、昭和19年5月5日、東西砺波郡の有力な建設会社が統合する形で砺波工業株式会社が誕生しました。それから70年、戦後の荒廃した国土の復旧、そして高度経済成長時に多くの土木建築物を通して社会基盤整備の充実に貢献をしてまいりました。社会の経済情勢や景気の動向に左右されながら、順風満帆とは決して言えない時期もありました。しかしながら、関係者各位のご支援とご理解、また、弊社社員、協力会社の皆さんの奮闘により無事に乗り切ることができました。今日まで、「技術と信用」を標榜して官庁・民間を問わず多くのご下命を賜り、少しなりとも、この地域の社会基盤整備の形成に寄与してきたと自負しております。

ここに創立70周年を迎えることができるのも、お客様はもちろんのこと、弊社の先輩各位、砺友会の会員企業各社のご支援の賜物と、あらためて感謝申し上げます。

先輩方は、その時、その時で最善を尽くしてこられました。それは、経営者だけではなく、全社員がそうであったと思います。そして、全社員で行ってこそ意味があり、効果が出てくるのだと確信しております。

70周年を迎える今、政策が功を奏しているのか、景気としては向上の兆しを見せてはいます。しかしながら、今後とも厳しい競争の時代は続くでしょう。砺波工業株式会社が、この地域にとって必要とされる企業となるよう頑張っていきたいと思えます。

そして、80周年、90周年、100周年を迎える時には、より進化・成長した砺波工業株式会社になって、胸を張って関係する皆様にご報告できるよう、今を大切にしていきたいと思えます。今後とも末永くご愛顧のほどよろしくお願い致します。

砺波工業株式会社

代表取締役社長 上田 信和

1944
1953

第1章

創業

企業合同、敗戦、再出発

第二次世界大戦末期、日本政府は軍需生産を優先し、限られた資材や労働力を効率的に活用するために企業の統合整備を行った。東西砺波郡の建設会社を合併させよという指示が発せられ、それによって砺波工業(株)が生まれた。新会社設立のために集まった発起人は12名、初代社長には、中嶋桑次氏が選ばれた。

昭和19年5月4日に創立総会を開催し、翌日の5月5日に新会社として登記された。株主総数は39名、総数は2,000株であった。

創立当時の工事は、堤防や道路の応急工事が大半であった。企業合同に参加した企業のほとんどが土木関係の会社であったことと、本格的な堤防工事や道路工事を行う余裕が無かったことが原因と考えられる。

その様な中、昭和22年4月、建築木材の製材所として鷹栖製材所を設立、製材工場を自営したメリットは大きく、その後、昭和38年に株式会社鷹栖製材所として分離、後に鷹栖建工(株)として改称する。

昭和22年7月には、初代中嶋社長が佐藤工業(株)に専任することとなり、創業以来専務として采配を振るっていた木村長次郎氏が2代目社長に就任した。その後も林市太郎氏が3代目社長に、26年6月には水上与吉氏が4代目社長に、28年8月には上田豊信氏が5代目社長にとトップがめまぐるしく変わる時代でもあった。

その様な中でも、昭和23年9月に富山、昭和25年に金沢、昭和26年に高岡と各営業所を開設させ積極的に営業エリアを拡げた。会社自身の信用力、売上げ等も上昇し、基盤が確立してくるにつれ、砺波工業(株)こそ自分たちの会社だという愛社精神が社員の中に培われてきた。

12人の発起人と砺波工業株式会社

木村長次郎、葭田太郎、水上与吉、山本善信、森金吾、前田助太郎、野原重一、半田常蔵、鏝沢吉蔵、山本松蔵、原清二、松田久蔵、以上の12名が新会社の発起人である。資本金の額、株主募集、役員構成、事務所の場所、会社の運営等々協議を行った。株主は39名、筆頭株主は佐藤工業(株)の社長でもあった佐藤久雄氏が筆頭株主であった。本社は砺波市太郎丸で今の砺波市、南砺市、小矢部市内に8カ所の営業所を開設した。



当時の株券

年代

できごと

1944

昭和19年

5月 富山県下の東西砺波郡の建設業者12名が発起人となって砺波工業株式会社を創立。資本金は10万円
取締役役に中嶋桑次(社長)、木村長次郎(専務)、葭田太郎、水上与吉、前田助太郎の5名、監査役に安念三達、山本善信、平田善蔵の3名就任
本社事務所を出町太郎丸3228の種田宅に設置

6月 マリアナ沖海戦(日本、空母・航空機の大半を失う)

7月 東条内閣総辞職、小磯内閣成立

10月 レイテ沖海戦(武蔵など主力を失う)

11月 マリアナ基地のB29約70機東京を初爆撃



中嶋桑次

1945

昭和20年

1月 第1期決算、完工高17万5,988円、当期利益42円48銭

1月 資本金を10万円から19万8,000円に増資

4月 米軍、沖縄本島に上陸

8月 広島・長崎に原子爆弾投下

8月 ポツダム宣言受諾、第2次大戦終結

9月 GHQ、軍需生産全面禁止を指令

1946

昭和21年

2月 第2期決算、初配当6%

2月 金融緊急措置令(新門切換)

5月 第1次吉田内閣

11月 日本国憲法発布

1947

昭和22年

2月 西砺土建協会(社団法人富山県建設業協会小矢部支部の前身)の設立、山本善信取締役が初代会長に就任

7月 中嶋桑次、取締役社長を辞任、木村長次郎が社長に就任

7月 資本金を70万円に増資

1月 「2・1ゼネスト」に対しGHQより中止命令

4月 労働基準法公布

4月 独占禁止法公布



木村長次郎

1948

昭和23年

6月 資本金を120万円に増資

6月 福井大地震に当社から救援隊を派遣

9月 富山営業所開設

○出町中学校建設工事

○般若中学校建設工事

○出町厚生病院建設工事

3月 芦田内閣

6月 福井県に大地震(死者3,769人、全壊3万6,000戸)

10月 第2次吉田内閣

12月 GHQ、経済安定9原則実施を指令

1949

昭和24年

10月 建設業法の制定により建設業登録を受ける

10月 資本金を200万円に増資

11月 本社事務所を出町太郎丸3264の松田宅に移転

○若林中学校建設工事

4月 1ドル360円の単一為替レート

8月 シャウブ税制勧告

11月 湯川博士にノーベル物理学賞



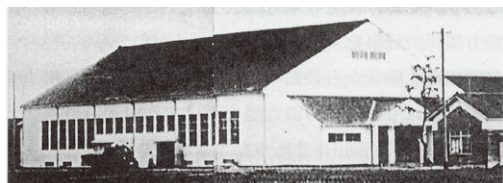
出町新制中学校



庄川河川締切



高岡工芸高校体育館



出町新制中学体育館



旧出町小学校

初代社長 中嶋条次氏

(昭和19年5月～昭和22年7月、在任期間3年2ヶ月)

現在の砺波市柳瀬の出身。42歳にて佐藤工業(株)の東京支店長、翌年には取締役就任、翌々年には常務取締役に就任し佐藤工業(株)の大黒柱となる。砺波が発祥の佐藤工業(株)の重鎮を砺波工業(株)の社長として迎え入れることは寄り合い所帯的な会社をまとめるためにも大いに意義がある人選であったと思われる。昭和45年2月28日急逝。享年68歳。

年 代

できごと

1950

昭和25年

- 2月 木村長次郎、取締役社長を辞任、林市太郎が社長に就任
- 3月 金沢営業所開設
- 10月 資本金を250万円に増資
 - 戸出中学校建築工事
 - 3月 自由党発足(吉田茂総裁)
 - 5月 国土総合開発法公布
 - 6月 朝鮮戦争始まる
 - 7月 GHQの指令でレッドパージ始まる

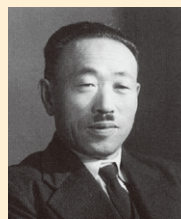


林 市太郎

1951

昭和26年

- 2月 資本金を350万円に増資
- 4月 高岡営業所開設
- 6月 林市太郎、取締役社長を辞任、水上与吉が社長に就任
- 7月 富山県土木建築労災保険協会の設立、水上社長が監事に就任
- 8月 富山県土木建築労災保険協会出町支部の設立、水上社長が支部長に就任
- 10月 資本金を500万円に増資



水上与吉

- 出町中学校雨天体操場新築工事
- 般若小学校建築工事
- 高岡市下水道下関・縄手幹線第1号工事
 - 1月 NHK、第1回紅白歌合戦
 - 6月 新土地収用法公布(公共事業に必要な土地の収用・使用につき手続・補償などを規定)
 - 6月 政府、新経済政策を発表
 - 7月 朝鮮休戦交渉のため証券・繊維相場暴落

1952

昭和27年

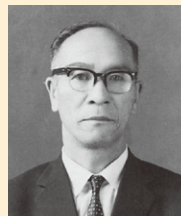
- 12月 資本金を700万円に増資
 - 富山県立西部高等学校改築工事
 - 吉江中学校屋内体育館新築工事
 - 庄川中学校建築工事
 - 初めてケーソン工事施工(滑川漁港用ケーソン)
 - 4月 対日平和条約・日米安全保障条約発効
 - 4月 となみチューリップフェアが始まる
 - 5月 メーデー事件
 - 6月 会社更生法公布(再建可能な破産企業を再建させるため)

1953

昭和28年

- 8月 水上与吉、社長を辞任、上田豊信が社長に就任
- 9月 富山県建設労働基準協会砺波支部長に上田社長就任
- 12月 資本金を800万円に増資

- 出町小学校校舎改築工事
- 県立高岡工芸高校講堂新築工事(当社が施工した最初の鉄筋コンクリート造)
 - 3月 ソ連首相スターリンの死で、証券市場暴落(スターリン暴落)
 - 7月 朝鮮休戦協定調印
 - 8月 日本テレビ、本放送開始(民放初のテレビ放送)



上田豊信

1954
1963

第2章

富山県の代表的な建設会社を目指して

戦後の混乱期を脱し、日本経済の前途にも明るさが見え始める。砺波工業㈱の10年の歴史は、そのまま戦後の歳月と重なっていった。

10周年記念式は、就任して1年足らずの上田社長が指揮をとって本社事務所（砺波市太郎丸の元医員松田恭宅を借りる）にて社員25名と関係者が一同に会し行われた。昭和30年代に入り、高度経済成長の波に乗って建設業界は好調を期す。創業時には土木部門の完工高が多くを占めていたが、昭和30年からは建築の割合が多くなった。その様な中、昭和36年11月に大口の施工主でもあった般若鉄工所の倒産（2,866万円の手形が不渡り）により創業以来の危機に直面する。当時の資本金が2,000万円であったことを考えると、時の経営陣の心痛を窺い知ることができる。

これを機に、協同組合的な雰囲気から本当の意味での企業として脱皮できた。30年代の後半には、建築工事では、富山県内の国・県・各市町村・公団・公社の殆どの物件において指名をいただき受注につなげ、施工を積み重ねる事によって信頼を重ねていった。

港湾工事にも進出し、日本海重工業（上田社長が以前在籍していた職場、現在の新日本海重工業㈱）より富山新港の防波堤ケーソン工事を複数回受注し、新しい分野を切開いた。

また、昭和37年に砺波市内各地で着手された圃場整備事業は当社の土木部門での業績に大きく貢献した。事業のピークは昭和40年代、44年・45年が最盛期であった。

砺友会の設立

協力会社で働く者同志で親睦を計り、一致協力し会社の信頼を得る立派な仕事を仕上げ、会社との関係をより緊密にすることを目的として、昭和29年1月「砺友会」という会をつくった。初代会長には土木佐一郎氏（瓦業/砺波市大門）、副会長には島田外次郎氏（大工/砺波市鷹栖）、会計を西村正順氏（大工/砺波市鷹栖）とし設立総会を同志14名で開催した。

その後、会社の発展とともに会員数も増加し続け、最盛期には会員数は100社を超えた。現在は77社にて運営を行っている。

年 代

できごと

1954
昭和29年

5月 創立10周年記念式



創立10周年

○庄川筋左右堤防欠所復旧工事

○砺波税務署庁舎新築工事

4月 東砺波郡砺波町が市制施行にて砺波市が誕生

6月 防衛庁設置法・自衛隊法公布

12月 自民党鳩山内閣

○高岡市末広町店舗新築工事

11月 自由民主党結成

1955
昭和30年

1956
昭和31年

3月 資本金を1,000万円に増資

○県立高岡西部高校改築工事

6月 下請代金支払遅延等防止法公布

12月 日本、国連に加盟

1957
昭和32年

7月 資本金を1,300万円に増資

○城端産業会館新築工事

○県販購農協連富山倉庫新築工事

○ブルドーザー購入（第1号車）

7月 経済企画庁、経済白書（早すぎた拡大とその反省）を発表

10月 ソ連、人工衛星スプートニク1号打上げに成功

1958
昭和33年

1月 ブルドーザー（第2号車）購入

6月 ロードローラー（マカダム式10トン）購入

11月 資本金を1,500万円に増資

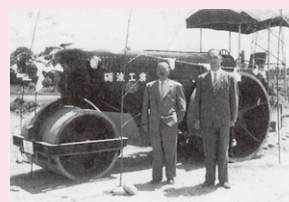
○県立高岡女子高等学校
校体育館新築工事

3月 日本道路公団、関門

国道トンネル開通

12月 1万円札発行

12月 東京タワー完成（高さ
333m）



ロードローラー購入 昭和33年

1959
昭和34年

10月 中小企業退職金共済法に基づく退職金共済契約加入

12月 資本金を1,800万円に増資

○主要地方道新湊庄川線雄神橋架換工事

○庄川筋左岸堤防復旧工事

1月 メートル法施行



高岡市末広町通り 昭和31年頃



河川工事



砺波電報電話局 昭和37年



立山砂防水谷出張所 昭和38年



土木工事



建築工事



県立砺波工業高等学校 昭和38年

第5代社長 上田豊信氏

(昭和28年8月～昭和57年12月 在任期間29年4ヶ月)
旧制中学校の教師を長年勤め、企業経営とは全く関係のない職種を経験していた理由から、協同組合的な会社にメスを入れ、改革を行うには適任だった。不断の努力と慈愛に満ちた心で、情熱と正義感を持って社業の発展に粉骨砕身尽力した。富山県建設業協会副会長、砺波商工会議所副会頭、富山県教育委員長、勲4等瑞宝章叙勲、剣道7段範士、平成2年3月8日逝去。享年88歳。

年 代

できごと

1960

昭和35年

4月 皇太子御成婚ブーム

4月 国民年金法公布

9月 中ソの意見対立激化

○県立高岡女子高等学校増築工事

7月 東名高速道路、清水市で起工

12月 閣議、国民所得倍増計画を決定

1961

昭和36年

3月 資本金を2,000万円に増資

6月 パワーショベル購入(930万円)

10月 県立高校建築工事を昭和26年より10年間の長きにわたって当社が施工を担当したことで富山県より感謝状を授与

11月 般若鉄工所倒産、2,866万円の手形が不渡りとなる

12月 資本金を3,000万円に増資

○富山県総合職業訓練所建築工事

○栗山道路改良工事

○呉羽電報電話局新築工事

○砺波厚生病院新築工事

6月 農業基本法公布

9月 愛知用水、完工通水(幹線水路長112km、総延1,135km)

10月 電源開発、御母衣発電所完工(ロックフィルダム)

10月 大鵬・柏戸、横綱に推挙

1962

昭和37年

1月 パワーショベル(日立U106)使用規定の制定

○砺波電報電話局新築工事

3月 テレビ受信契約数1,000万突破(普及率48.5%)

5月 新産業都市建設促進法公布

6月 北陸本線北陸トンネル開通(13.87km、日本最長)

9月 日本道路公団、若戸大橋開通(2,068m)

1963

昭和38年

9月 製材部門の鷹栖製作所を独立させ株式会社鷹栖製材所設立。資本金120万円。代表取締役を上田豊信、石崎喜一郎の2名が就任

12月 資本金を3,500万円に増資

○富山新港防波堤ケーソン製作工事

○富山港西防波堤工事

○県立砺波工業高等学校新築工事

○富山県販売購買農業協同組合連合会砺波農業倉庫新築工事

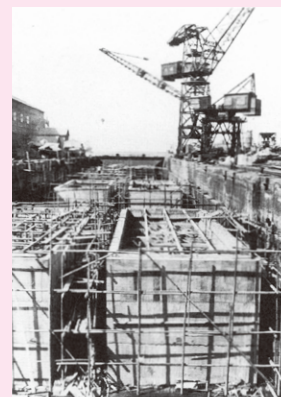
6月 関西電力、黒部川第4発電所完工(ダム高さ186m)

7月 閣議、新産業都市に富山、高岡など13カ所を決定

7月 中小企業基本法公布

8月 富山空港開港

11月 米ケネディ大統領、テキサス州ダラスで暗殺される



富山新港防波堤ケーソン製作工事
(日本海重工業内) 昭和38年

1964
1973

第3章 総合建設業への道

東京オリンピックが開催された昭和39年は当社にとっても20周年という記念すべき年でもあった。記念として砺波市中央町3番21号に鉄筋コンクリート3階建ての社屋を完成させた。社是も制定し20年を掛けて企業としての要素を全て満たした形となった。日本全体がオリンピックのお祭り騒ぎに湧いたのだが、終われば一転、それまでの大型のインフラ整備（オリンピック施設・東海道新幹線・名神高速道路等々）の反動で、日本経済自体が停滞局面に入り、建設投資は伸び悩み、受注競争は短期的に激化した。

しかし、日本経済自体が上昇機運にあり、昭和42年後半には回復し、イザナギ景気に突入する。民間投資は製造業・非製造業問わずあらゆる業種で行われた。公共工事も40年代後半からは、地方に中核都市を建設し、人口を分散させ日本全土を改造しようという田中角栄首相の「列島改造論」により活況を呈する事になる。

その様な中で、砺波工業(株)も地方の小建設会社から中堅の総合建設業への脱皮をはかっていた。社員も会社に対して自信と誇りを持ち始めた時代でもあった。当時の地元の代表的な建設物は全て砺波工業(株)の施工であると言っても過言ではないほどであった。社員全員が、自分たちがつくって、お客様に提供しているという誇りと、どこに出しても恥ずかしくない技術を駆使して建設しているという自信を持ったからだ。この、誇りと自信が更に愛社精神を育成し、新たな社風を生み出していった。



峯越連絡林道開設事業ブナオ線全工区工事

年 代

できごと

1964
昭和39年

- 2月 「社是」の規定
- 7月 本社事務所を新築移転（砺波市中央町3番21号）
- 7月 創立20周年記念式を開催
- 7月 資本金を4,200万円に増資
 - 城端電報電話局新築工事
 - 砺波市庁舎新築工事
 - 砺波市市民会館新築工事
- 6月 新潟を中心に大地震、死者26人、全壊全焼2,250戸
- 10月 東海道新幹線開業
- 10月 オリンピック東京大会開催
- 11月 佐藤内閣設立



本社社屋 昭和39年



創立20周年集合写真

1965
昭和40年

- 2月 資本金を5,000万円に増資
 - 県立高岡高等学校体育館新築工事
 - 県立砺波工業高等学校体育館新築工事
 - 園地整備事業各所で始まる
- 2月 米機、北ベトナム爆撃開始

1966
昭和41年

- 8月 社内報「やまびこ」創刊号発刊
- 10月 資本金6,000万円に増資、売上高10億円を達成
 - 氷見電報電話局増築工事
 - 川田病院新築工事
 - 立山砂防 泥谷堰堤災害復旧工事
- 5月 中国、文化大革命はじまる
- ・景気上昇「いざなぎ景気」40年下期～50年下期



「やまびこ」創刊号

1967
昭和42年

- 7月 上田社長、地方産業安全水準に尽くした功で労働大臣より功績賞を受賞
- 11月 資本金を7,000万円に増資
 - 富山保健所精神衛生センター庁舎新築工事
 - 野村病院新築工事
 - 日乃出屋製菓所福光工場新築工事
 - 富山県営水道浄化場管理本館他新築工事
 - 峯越連絡林道、ブナオ線全工区工事
- 4月 「イタイイタイ病」が三井金属神岡鉱業所の廃水が原因と発表
- 8月 公害対策基本法公布
- 12月 テレビ受信契約数2,000万を突破（普及率83.1%）

1968
昭和43年

- 4月 石崎喜一郎監査役逝去、社葬
- 6月 故石崎喜一郎に全国建設業協会会長より功績賞を授与
- 12月 資本金を8,400万円に増資
 - 市立砺波厚生病院病棟増築工事
 - 中越パルプ能町工場マシン及び調整室新築工事
 - 国立療養所北陸荘病棟更新工事
 - 多枝原谷堰堤その4工事
- 6月 都市計画法公布
- 7月 ケネディ・ラウンドによる第1回関税引下げ実施
- ・国民総生産（GNP）1,428億ドル、米国に次ぎ第2位

1969
昭和44年

- 1月 「砺波工業の歌」の発表会（上田豊信作詞、堀田政二郎作曲）



一般国道156号線道路改良工事井波町大橋平地先



城端町体育館



砺波市庁舎



立山砂防天鳥砂防ダム



◀日乃出屋製菓所
福光工場



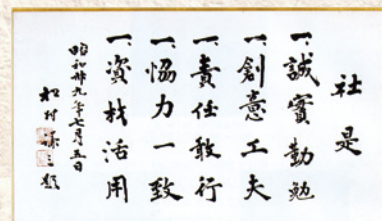
富山県砺波総合庁舎▶



◀城端町庁舎、
社会福祉会館、
児童館、
商工会事務所

創立20周年 社是と松村謙三代議員

創立20周年記念を祝い、松村謙三代議員より当社の社是（昭和39年2月制定）を揮毫した額を寄贈頂いた。松村謙三代議員は福光町出身の衆議院議員で当選回数は7回を数え、厚生大臣・文部大臣・農政大臣を歴任している。戦後、農政大臣として農地改革を提案推進した。日中友好と日中国交回復に生涯を掛けて尽力する。昭和46年に88歳で逝去された。誠実・清廉な人柄で親しまれ多くの政治家に影響を与えた。その松村謙三代議員にも揮毫していただいた社是は今も社員の胸に深く刻まれている。



政治家に影響を与えた。その松村謙三代議員にも揮毫していただいた社是は今も社員の胸に深く刻まれている。

年 代

できごと

1970 昭和45年

- 5月 創立25周年記念式典
- 5月 堀上健一取締役土木部長逝去、社葬
- 10月 資本金1億円に増資
 - 新湊電報電話局増築工事
 - 富山県砺波総合庁舎新築工事
 - 富山日産自動車砺波営業所新築工事
- 1月 東大安田講堂事件
- 5月 東名高速道路全通(346.7km)
- 7月 アポロ11号、月面着陸(人類として初めて月を踏む)

- 2月 (初代社長)中島桑次取締役逝去、合同葬儀
 - 日本専売公社富山支局事務所新築工事
 - 雇用促進住宅福光宿舍新築工事
 - 高岡問屋センター組合員建物新築工事
 - 天鳥堰堤工事

3月 日本万国博覧会EXPO'70、大阪千里丘陵で開催

1971 昭和46年

- 2月 金沢営業所、金沢市芳斉2丁目1番16号に移転
- 4月 資本金を1億1,000万円に増資
- 7月 上田社長、建設大臣より表彰状を授与
- 7月 当社高岡社屋が完成、事業本部・高岡営業所・福祉センターとして利用
 - 一文字橋架替及び取付道路工事
 - 砺波市立出町中学校建築工事
- 6月 立山・黒部アルペンルート開通
- 8月 ニクソンショック、金とドルの交換一時的停止、東証ダウ株価大暴落
- 8月 松村謙三逝去(88歳)

1972 昭和47年

- 11月 資本金を1億2,000万円に増資
 - 白石道路工事
 - 一般国道156号線道路改良工事
 - 太閤山住宅団地第2住区5工区造成工事
 - ニュートナミボウル新築工事
- 2月 連合赤軍、浅間山荘事件
- 5月 沖縄返還
- 6月 英ポンドの変動相場制移行(ポンド・ショック)
- 7月 自由民主党 田中内閣発足
- 9月 日中戦争状態終結、国交正常化

1973 昭和48年

- 2月 河合邦吉監査役逝去、合同葬儀
- 5月 上田社長、勲4等瑞宝章を叙勲
- 10月 社員川上光英殉職、社葬
- 11月 富山菱光コンクリート工業株式会社を設立。資本金2,000万円(当社35%出資)、初代社長に上田豊信就任
- 11月 資本金を1億3,500万円に増資
 - 太閤山住宅団地公共下水道工事
 - 城端町庁舎ほか新築工事
 - 子撫川総合開発事業子撫川ダム建設工事(～51年)
- 2月 外国為替を変動相場制へ移行
- 8月 金大中事件
- 10月 第4次中東戦争はじまる
- 10月 第1次オイルショック

1974
1983

第4章

全員経営の企業へ

昭和49年6月1日、創立30周年記念式が砺波市の農協会館大ホールにて行われた。社員数は160名にのぼり鉄工所の社員も含めて一同が会する場合は稀であり会社の力強さを感じる機会となった。ただ、この昭和49年という年は日本経済が大揺れに揺れた年でもあった。前年の11月に起こったオイルショックの影響により、金融の引き締め、建築費の高騰に民間の投資意欲が急激にしぶんでいった。

会社としては、昭和44年に資本金が1億円に達し（昭和50年には1億5,000万）、完工高、利益、社員数とそのレベル、会社の組織、実力においても30年にして富山県内の中堅建設会社として確実に前進していると見ても良い状態であった。

昭和57年12月、第39回定時株主総会後の取締役会で上田社長が会長に、そして第6代社長として石崎弘氏に決定した。昭和28年8月31日、以来29年4ヶ月続いた上田社長の時代は幕を閉じ、石崎社長の時代が始まった。

鉄工場から株式会社トナミ鉄工へ

当社が砺波市豊町に鉄工場を創設したのは昭和38年10月であった。当社が総合建設業として発展するためには鉄工場は不可欠との判断のもと投資であった。当社の伸びと同様に、鉄工場の評価も上がり、昭和44年には氷見鉄工場を増設した。



豊町鉄工場



砺波鉄工所

その後、豊町の

用地が国道の拡幅にあい昭和49年に砺波市石丸に移転、昭和52年12月の株主総会において株式会社砺波鉄工所として独立した。その後は平成4年に本社社屋を新築した

後、平成5年には株式会社トナミ鉄工に改称し、イメージカラーやブランドマークを整え、社内だけではなく、他の建設会社や官公庁からも受注を受けるようになった。



トナミ鉄工

年 代

できごと

1974
昭和49年

- 4月 全国土木建築国民健康保険組合への加入
- 6月 創立30周年記念式典
- 10月 当社石丸工場第1期工事竣工
- 10月 第1回富山県建設業野球大会で当社優勝



30周年祝賀会

- 砺波電報電話局増築工事
- リハビリテーション野村病院新築工事
- 富山トヨタ自動車砺波支店社屋新築工事



30周年集合写真

- 8月 ニクソン大統領、ウォーターゲート事件で辞任
・経済成長率-1.4%、名目19.1%（戦後初のマイナス成長）
- 12月 三木内閣発足

1975
昭和50年

- 10月 森金吾顧問逝去
- 10月 資本金1億5,000万円に増資
- 日本海重工業陸機工場新築工事
- 国立療養所北陸荘病棟新築工事
- 島田木材ニュータウン千成住宅造成工事

1976
昭和51年

- 1月 営業活動充実のため営業本部を高岡事業本部に設置
- 2月 第6回富山県実業団剣道大会で当社チーム優勝
- 西赤尾小学校新築工事
- 上平村立中学校皆律分校新築工事
- 国立療養所北陸荘サービス棟工事
- 城端勤労者体育センター建設工事
- 2月 ロッキード事件発覚
- 4月 中国、天安門事件
- 7月 前首相田中角栄逮捕
- 11月 建築基準法改正公布
- 12月 福田内閣発足

1977
昭和52年

- 1月 砺波工業(株)労災互助会設立(会社と協力業者が施工に関して発生した人身事故に対し、会社と会員の相互扶助の精神に基づき弔慰金または見舞金を支給することを目的とする)会長に石崎弘就任
- 富山医科薬科大学体育館新築工事
- 新津津良トンネル工事(～55年)
- 水谷沢第7号床固工事
- 氷見市立宮田小学校改築工事(～55年)
- ・平均寿命男72.69歳、女77.95歳で世界1位となる



水谷沢流路工

1978
昭和53年

- 1月 氷見鉄工場閉鎖
- 10月 薦与三兵衛監査役逝去、社葬
- 11月 和田副社長、勲5等瑞宝章を叙勲
- 12月 石丸鉄工場を独立、株式会社砺波鉄工所として発足。
- 資本金1,500万円。代表取締役専務に中島豊信就任
- 太閤山第2小学校校舎新築工事
- 砺波市社会福祉センター新築工事
- 国民宿舎五箇山荘新築工事
- 新湊電報電話局新築工事



北陸自動車道湯上高架橋工事



砺波市文化会館 昭和56年



津々良トンネル



城端曳山会館 昭和58年



◀ 砺波総合病院
昭和58年

第6代社長 石崎弘

(昭和57年12月～平成12年11月 在任期間18年間)

戦争直後の混乱期、大手建設会社から砺波工業株に入社し建築の技術者として、経営者として貢献した。入社当時は土木が主流の会社であったが、石崎氏が建築出身である事から、徐々に建築の比率が多くなっていった。富山県建築士会会長、富山県建設業協会副会長、砺波商工会議所副会頭を歴任、黄綬褒章、勲5等瑞宝章を受章。平成25年2月25日逝去。享年90歳。



年 代

できごと

1979
昭和54年

- 5月 新東京国際空港開港(建設決定から12年6,000億円)
- 10月 日中平和友好条約発効
- 12月 大平内閣発足
- 4月 名称変更、旧本社を本店、旧高岡事業本部を本社とする
- 5月 設立35周年記念式を開催
- 9月 資本金を1億6,500万円に増資
 - 野村病院脳血管センター増築工事
 - 北陸自動車道富山南工事
 - 砺波市農協農産物集出荷貯蔵施設新築工事
 - 雇用促進住宅四方宿舍新築工事
- 1月 イラン革命(国王エジプトへ亡命)
- 1月 第2次オイルショック
- 1月 上越新幹線の大清水トンネル貫通
(2万2,228m、世界最長の山岳トンネル)

1980
昭和55年

- 4月 富山支店を設置(富山市丸の内2丁目4番13号)
- 7月 富山支店新社屋落成
 - 県営大長谷第3発電所建設工事
 - 富山県砺波青少年の家新築工事
 - エルコー社屋増築工事
 - 氷見地区百谷隧道工事
 - 境川総合開発事業工事用道路隧道(打越トンネル)
- 7月 鈴木内閣発足
- 9月 イラン・イラク戦争

1981
昭和56年

- 10月 砺波市五谷地区で地滑り発生、当社は急傾斜地の崩壊防止に全力投入
- 11月 社団法人富山県住宅建物取引業協会に入会
- 11月 全国火薬類保安協会より火薬類取扱優良事業所として表彰(全国で13事業所)
 - 北陸自動車道湯上高架橋工事
 - 栗山病院新築工事
 - 砺波北部小学校増築工事
 - 砺波市文化会館建築工事
- 8月 東証ダウ株価、史上初の8,000円の台に乗る

1982
昭和57年

- 3月 第18回富山県実業団剣道大会で団体優勝
- 12月 上田豊信会長、石崎弘社長に就任
 - 砺波市庄東小学校建築工事
 - 富山県衛生研究所改築工事
 - 氷見地区森寺隧道工事(～59年)
- 2月 国会で工事談合問題が追及
- 8月 台風10号上陸、横断、東海道線の富士川鉄橋橋脚流失

1983
昭和58年

- 11月 火薬類取扱優良事業所として通商産業大臣表彰を受ける(全国で5社)
- 11月 建設雇用改善優良事業所として労働大臣表彰を受ける
 - 市立砺波総合病院病棟建築工事
 - 北陸自動車道入善西工事
 - 特別養護老人ホームやすらぎ荘新築工事
- 1月 青函トンネル(53.9km)、先進導坑貫通(着工以来19年)
- 2月 日本初の実用通信衛星「さくら2号a」打ち上げ
- 7月 任天堂、ファミリーコンピュータ発売
- 11月 中曽根内閣発足



石崎 弘

1984
1993

第5章

完工高100億円の時代を迎え、 バブル経済とともに

昭和60年以降の10年間は、日本経済にとって起伏の大きい時代であった。バブル景気から（昭和61年12月から平成3年2月までの51ヶ月間）崩壊までの僅かの期間に天国と地獄を見た企業は数知れない。都会では都市再開発や超高層ビルの建設など、大型プロジェクトが目白押し、大手建設会社を中心に好況を謳歌する時代だった。数年後には地方の建設会社にもその波は押し寄せてきた。当社においても昭和55年から年間完成工事高50億円のレベルを10年続けてきたが、平成に入ってから景気の波に乗り、一気に100億円の売上を到達出来るようになった。この時期、土木建築を問わず、大きな現場を受注する機会に恵まれ、現場を通して技術力を高める事が出来る絶好の機会でもあった。会社全体に底力がついてきたのは確かである。

もともと地域に根ざし、堅実に成長していくことを常とし、石橋を叩いて渡る経営を掲げていた。確かにそれが会社の信用を築き、企業の基礎を固める原動力になっていたのは間違いない。一方で積極性に欠ける経営になったのも否定できなかった。そういった過去の企業風土を払拭するかのように入り「県外工事の受注・完成工事高100億円」という目標を掲げた。その結果、平成3年には完成工事高が100億円を超すことが出来た。まさしく時代の波に乗れたということかもしれない。しかし、一時的な完成工事高の上昇はバブル崩壊と同時に厳しい現実とそのギャップに直面することとなる。

大工事、難工事と現場社員

昭和60年代に入り、当社は急激な受注増を記録する。それとともに、難工事とも遭遇する事になる。その典型的な工事が富山県発注の境川ダム工事である。工事は佐藤工業・大日本土木とのJVにより施工されたもので、堤高115m、堤頂長297.5m、総貯水容量5,990万m³のこのダムは、コンクリートダムの合理化施工法「RCD工法」を採用しており、当時の同工法では日本一の規模であった。当社の請負金額だけでも30億円を超し、昭和60年7月から平成5年11月完成と長期間にわたるものであった。当社の社員も多く尽力し、最新の工法・技術力を身につける良い機会でもあった。



境川ダム工事

年 代

できごと

1984
昭和59年

- 3月 近藤謙治常務取締役逝去、社葬
- 6月 創立40周年記念式典
- 11月 資本金1億8,150万円に増資
- 11月 労働省労働基準局長より第1種無災害記録証（建設業は170万時間）を授与
 - 富山県営総合体育センター新築工事
 - 富山大学工学部校舎建築工事
 - 射水神社参集殿新設工事



40周年記念祝賀会

1985
昭和60年

- 7月 石崎社長、建設事業功労者として建設大臣表彰を受ける
- 7月 境川ダム起工式及び安全祈願祭
 - 境川総合開発事業境川ダム建設工事（～68年）
 - 砺波南部小学校建築工事
 - 三精工業第6期工事
- 3月 日本たばこ産業（株）設立（資本金1,000億円）
- 8月 日本航空123便、群馬県御巣鷹山に墜落、520人死亡

1986
昭和61年

- 10月 小矢部市蟹谷地区圃場整備事業完成式に感謝状を授与
- 11月 石崎社長、黄綬褒章を受章
 - 砺波郵便局庁舎新築工事
 - 立山カセイ増築工事
- 2月 北陸地方に豪雪
- 4月 ソ連のチェルノブイリ原子力発電所で大規模な事故
 - ・急速な円高により景気後退

1987
昭和62年

- 3月 県営かんがい排水事業庄川右岸地区安川発電所建設工事安全祈願祭（全国最初の農業用水利用発電）
 - 小矢部川流域下水道事業小矢部川幹線小矢部川横過トンネル築造工事
 - 北陸財務局高岡宿舍B新築工事
 - 一般国道304号線道路改良（新蔵原トンネル）工事
 - 県立高岡高等学校体育館新築工事
 - 共栄製薬第2工場新築工事
 - 浜崎崎野村病院増築工事
- 4月 JRグループ各社開業
- 10月 ニューヨーク市場大暴落（ブラック・マンデー）、史上最大の下落で、世界の株式市場に波及

1988
昭和63年

- 4月 全国建設厚生年金基金に加入
- 12月 国道8号線滑川・富山バイパス開通（当社施工区間＝手屋道路その1、沖道路、一本木道路その1、同その2、北馬場道路その2、同その3、田伏道路その2、上梅沢道路、上島道路その7）
 - 特別養護老人ホームやすらぎ荘増築工事
 - 萩野病院増築工事
 - 県立高岡高等学校第1体育館改築工事
- 7月 リクルート事件



ニチマ倶楽部 平成2年



富山県総合体育センター 昭和59年



砺波市立鷹栖小学校 平成4年

年 代

できごと

1989
平成元年

- 8月 イラン・イラク戦争8年ぶりに停戦
- ・外貨準備高(年末)976億ドル、西ドイツを抜いて世界第1位
- ・対外資産残高(年末)1兆4,693億ドル、英国を抜いて世界第1位

3月 上田豊信会長逝去、正安寺で社葬

6月 無災害記録100万時間達成

9月 売上高100億円を達成

○日産サニー富山販売

○ユニプラス北陸社屋新築工事

1月 昭和天皇崩御、「平成」と改元

4月 消費税実施(釣銭の1円硬貨不足)

6月 中国天安門事件

7月 参議院議員選挙で与野党の議席数逆転

12月 東証平均株価3万8,915円(史上最高値)

1990
平成2年

6月 境川ダム堤体コンクリート40万m³打設祝賀会举行

○セキハ・ラミックス本社工場建設工事

○県立砺波工業高校第2体育館建設工事

○ホテルニチマ倶楽部建設工事

○山崎機工本社社屋新築工事

2月 ソ連でベレストロイカ推進(複数政党制の容認など)

10月 東証平均株価2万円の大打撃(バブルはじける)

10月 東西ドイツ統一

1991
平成3年

4月 労働省労働基準局長 無災害工事表彰

・4月 免谷第1砂防ダム工事外

・7月 市立砺波総合病院核医学棟増築工事外

・11月 共栄製薬第2工場増築工事外

○三輪病院みわ苑建設工事

○立山アルミニウム工業高岡工場増築工事

○砺波商工会議所会館新築工事

1月 イトマン事件、社長解任

4月 湾岸戦争終結

5月 千代の富士引退、若・貴ブーム(世代交代)、雲仙・普賢岳の噴火

12月 ソ連消滅(崩れ去った超大国)

1992
平成4年

2月 増山清取締役建築部長逝去、合同葬儀

3月 社員守田三郎殉職、社葬

10月 宮嶋治男取締役逝去

○砺波市立鷹栖小学校新築工事

○クリンカーセンター41新築工事

○NTC砺波ビル建設工事

○富山松下電器管理棟新築工事

2月 佐川急便事件

・なべ底型の長期不況・政界再編成

・バブル倒産史上最悪(平成3年度の倒産1万1,767件)

1993
平成5年

10月 境川ダム完成

○法林寺トンネル工事

5月 サッカーJリーグ発足

8月 細川内閣成立(55年体制の崩壊)

・ゼネコン汚職・凶作で米不足騒ぎ

1994
2003

第6章

バブル崩壊、熾烈な企業間競争

平成3年に入り、バブルが崩壊し日本全国で長期の不況が訪れる。「失われた10年」とも「失われた20年」とも言われる時代である。かつて、不況であれば公共事業による経済の立て直しが政策として行われていた。しかし、財政再建を優先すべきとの世論が強くなり、思い切った経済対策に踏み込めないまま不況は長期化した。平成13年4月に小泉内閣の発足後は「聖域なき構造改革」等の施策により、一見、合理的でグローバルな社会が世の中の景気を上昇させると思われてはいたが、結果として、非正規社員の増加やデフレ化が深刻な問題となり、より深刻な経済環境を生み出すことになる。

弊社も例外ではなく、売上高の減少と、利益率の低下にもがき苦しむことになる。

その様な中、平成12年の11月末に行われた株主総会にて、18年間の間、企業のトップとして活躍頂いていた石崎弘社長が代表取締役会長に、そして、専務として活躍中であった第7代社長に有川成正氏が就任した。有川社長は、大胆に、そして迅速に社内改革をしなくてはならない必要性を感じそれを断行した。苦渋の選択もあった。仕事をすれば利益が出るという時代は完全に過ぎ去り、いかに工事を効率化し、無理、無駄、ムラの無い施工を行い、どのように利益を生み出すが現場の命題として課せられることになる。また、他社に先んじてISO9001（平成11年6月認証取得）、ISO14001（平成17年2月認証取得）、COHSMS（平成21年9月認証取得）という品質・環境・安全のマネジメントシステムの構築を積極的に行い、他社との差別化を行った。

フローティングドック「立山6500-01」建造

平成6年4月、当社の50周年を記念して、フローティングドック「立山6500-01」が建造された。当社が港湾工事に着手したのは昭和37年であり、その頃からの夢でもあった自社保有の船でもあり、再度、本格的な港湾工事への参入の旗印でもあった。

日本海側最大級、最新鋭のフローティングドックであり、将来の港湾工事の大型化、大水深化に対応できるものであった。社内でも幾度となく議論が行われた結果でもあり、将来の港湾工事計画・需要の推移・発注者の意見等も考慮した上での社運を掛けての設備投資とも言える。現在でも当社の象徴・特色の一つでもあり、会社に対する貢献度も建造20年経過した今でも多大である。



年 代

できごと

1994
平成6年

4月 フローティングドック「立山6500-01」建造

5月 当社創立50周年祝賀会

11月 当社紺綬褒章受章

○防災ダム大谷池築堤工事

○伏木富山港岸壁工事

○県立高岡女子高校第一体育館改築工事

○平村高齢者生活福祉センター建設工事

4月 民主党 羽田内閣発足

6月 社会民主党 村山内閣発足

7月 全国高校総体が富山県で行われる

8月 第1回全国散居村サミットが砺波で開催

10月 大江健三郎、ノーベル文学賞受賞



F D竣工時集合写真



創立50周年記念パーティー

1995
平成7年

4月 石崎弘勲五等瑞宝章を受章

○東般若処理施設建設工事

○芹川道路その2工事

○コーセル(株)研修センター新築工事

1月 阪神・淡路大震災

3月 地下鉄サリン事件

12月 五箇山合掌集落が世界遺産に登録

○二上浄化センター建設工事

○横江宮川用水路第11・第14工区工事

○コーセル(株)本社工場増築工事

1月 橋本内閣発足

3月 能越自動車道(福岡・小矢部・砺波間)開通

4月 全国都市緑化フェアを富山で開催

○平村黎明浄化センター建設工事

○伏木富山港岸壁(-10m)北工事

○西山橋耐震補強工事

○福岡町民総合体育センター建築工事

9月 ダイアナ妃国民葬

10月 城端線開通100年記念SLが走る

11月 サッカーワールドカップへ出場

12月 瑞龍寺が国宝(県内初)に指定

拓銀・山一破たん

○江尻道路その4工事

○特別養護老人ホーム三寿苑新築工事

○伏木富山港(伏木地区)防波堤(北)その4工事

2月 長野季期五輪開催

7月 小渕内閣発足

10月 和歌山毒物カレー事件4人死亡

1999
平成11年

6月 ISO9001取得

6月 当社創立55周年

6月 高岡本社社屋増設



チューリップ四季彩館 平成8年



水谷沢山腹工事 平成14年



◀東北陸自動車道 上原橋



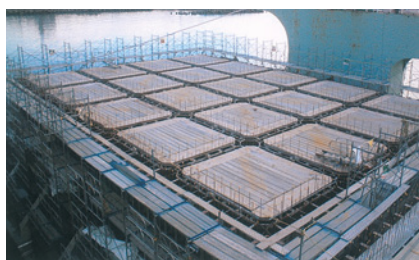
砺波市立出町小学校 平成14年



◀庄川水系和田川砂防ダム



婦中町立 神保
コミュニティセンター



◀直江津港(港口地区)防波堤
ケーソン製作工事(東港)
平成14年

年 代

できごと

2000 平成12年

11月 石崎弘代表取締役会長に有川成正代表取締役社長に就任

- 北陸自動車道若栗新高架橋耐震補強工事
- 和田川水道管理所過池土木施設改修工事
- 富山自衛隊体育館新設工事
- 富山県西部総合体育館新築工事
- 1月 欧州単一通貨ユーロが誕生
- 2月 脳死移植、初の実施
- 9月 神奈川県警などで不祥事相次ぐ
失業率過去最高、中高年の自殺急増



有川成正

2001 平成13年

4月 リフォーム事業部新設

- 北陸新幹線法光寺B・L工事
- 利賀工事用道路工事
- 県立平高校寄宿舎新築工事
- 4月 小泉内閣発足
- 9月 アメリカで同時多発テロ
- 12月 敬宮愛子さま誕生

2002 平成14年

4月 砺波土木センター発足により編成替え

- 石瀬道路工事
- 伏木富山港岸壁その5工事
- 福岡町健康福祉センター新築工事
- 11月 東北陸自動車道(五箇山～白川郷間)開通
- 1月 欧州単一通貨「ユーロ」が流通
- 5月 サッカーワールドカップ日韓共同開催
- 8月 史上初の日朝首脳会談
- 10月 小柴昌俊さん・田中耕一さんにノーベル賞

2003 平成15年

1月 社内報復刊

2月 石井哲雄取締役死去 合同葬

8月 石丸資材センター廃止

- 利賀工事用道路その2工事
- 丹波綾部道路戸奈瀬谷改良工事
- 砺波市学校給食センター建築主体工事
- ケアハウス三寿荘新築工事
- 4月 日本郵政公社が発足
- 9月 阪神18年ぶりリーグ優勝

日本経済は失速し、製造業は安い人件費を求め海外に生産拠点を移していくようになった。その様な中、平成18年の11月末、第7代の有川社長から、第8代の上田信和社長にバトンが繋がる。39歳の社長を会社の顔として据える事により、新生砺波工業(株)として、若い感性を取入れた会社運営を目指した。

しかし、経済の厳しさは更に増していく。アメリカで発生した平成19年のサブプライムローン問題、平成20年9月のリーマンブラザーズの経営破綻に端を発したリーマンショックは、国内経済を更に冷やし、公共工事でも財政健全化のもとで発注が年々絞られた。公共・民間ともに熾烈な受注競争が起き、ダンピングが常態化、多くの建設会社が市場から消えた。当社においても営業利益どころか、赤字決算をも余儀なくされた。

平成21年9月、民主党の鳩山内閣が「コンクリートから人へ」というフレーズとともに政権交替が起こる。建設業に対する風当たりは一段と厳しく、建設投資額はバブル期の半分まで減少する。談合問題や政治家との癒着、コンプライアンス、偽装等の言葉が溢れ、公共工事悪玉論が乱れ飛んだ。日本経済は平成23年3月11日に起きた東日本大震災・福島原発問題で更なる苦境に立たされる。この国難に民主党政権は破綻をきたし、自民党が再度政権を担う。それに伴い、防災対策と、インフラの老朽化対策のため、「国土強靱化論」が浮上、維持・修繕・耐震化における予算執行が積極的に行われるようになる。当社としても耐震・維持・修繕工事に速やかに対応できるよう努力、受注につなげた。また、長年の北陸地域の夢でもあった北陸新幹線の工事も当社に取っては厳しい中での受注に貢献し、徐々に確実なる利益を生み出す体制に変化していった。

北陸新幹線と当社

昭和40年に金沢市で開催された一日内閣の席上で砺波商工会議所会頭をしていた岩川毅は、「太平洋側と比べて日本海側は交通網に遅れをとっている。東京から北陸を通して、大阪につながる北回りの新幹線を建設していただきたい」と時の佐藤栄作首相に熱い口調で訴えた。それから50年、念願の北陸新幹線の開業が目前に迫った。砺波工業(株)が施工に携わった工事は、高架橋工事5件、建築工事3件、周辺整備工事2件、当社の請負額だけでも40億円近くへのぼる。公共工事が厳しい時代において、仕事量の確保という面では大きな役割を果たした。



高岡江尻高架橋



魚津六郎丸高架橋

年 代

できごと

2004
平成16年

- 6月 創立60周年記念の集い
 - 立山砂防スゴ谷工事
 - 伏木富山港道路東西線橋梁
 - パナケイア製薬工場増築工事
- 6月 能越自動車道(高岡～高岡北)開通
- 10月 新潟中越地震
- 11月 砺波市と庄川町が合併



60周年記念パーティー

2005
平成17年

- 2月 ISO14001認証登録
 - 北陸自動車道金沢高架耐震補強工事
 - 利賀川工業用水道浸透池建設工事
 - 葬祭ホール秋桜新新工事
 - スーパードーム桂店増改築工事
- 3月 愛知で「愛・地球博」開催

2006
平成18年

- 3月 射水営業所開設
- 3月 コスモス運用開始
- 9月 「となみ産業フェア・パワー博2006」開催 ブース出展
- 11月 有川成正代表取締役会長に就任
- 11月 上田信和代表取締役社長に就任



上田信和

2007
平成19年

- 砺波神島調整池第2工事
- 砺波北部地区福祉センター
- コーセル立山工場増築工事
- 竹内製作所工場改築工事
- 新長大橋下部工事
- 特別養護老人ホーム晴風荘新築工事
- 富山病院重心病棟更新工事
- 3月 能登半島地震
- 7月 新潟中越沖地震
- 4月 能越自動車道(～水見)まで開通

2008
平成20年

- 4月 森のふれあい倶楽部(砺波工業・中越緑化・富山興業JV)にて高岡おとぎの森公園の指定管理業務を受託
- 5月 国土交通省大臣顕彰 建設産業人材確保・育成推進功労により
 - 下島大橋下部工事
 - ちゅうりっぷ保育園新築工事
 - 高重記念クリニック新館建設工事
 - 塩谷硝子富山工場製品倉庫新設工事
 - スーパードーム輪島店増築工事
- 8月 北京オリンピック開催(国内材料の高騰)
- 9月 米証券大手リーマン・ブラザーズ経営破綻(リーマンショック)
- 11月 米大統領にバラク・オバマ氏当選
 - ・東海北陸自動車道全線開通



高岡おとぎの森



出町子供歌舞伎曳山会館



高重クリニック



◀立浪眼科医院



伏木ケーソン



オートバックス砺波店▶



◀立山砂防スゴ谷



消防学校▶

年 代

できごと

2009

平成21年

- 5月 創立65周年
- 8月 AED講習会開催
- 9月 「となみ産業フェア・パワー博2009」開催 ブース出展
- 9月 COHSMS認定 富山県第1号

○北陸新幹線建設(魚津高架橋、水橋新堀高架橋、高岡江尻高架橋)工事

○浜黒崎野村病院新築工事

○出町子供歌舞伎曳山会館新築工事

9月 民主党政権 鳩山内閣発足

10月 能越自動車道(～氷見北)開通

○北陸自動車道富山管内構造物補修工事

○青山アレック砺波工場新築工事

○オートバックス砺波店新築工事

6月 民主党菅内閣発足

8月 砺波工業高校野球部甲子園大会に初出場

2010

平成22年

2011

平成23年

- 3月 東日本大震災応援(3月・4月)

○水谷沢下流山腹工事

○砺波北部小学校耐震改修新築工事

○富山県消防学校B工区新築工事

○地域密着型複合施設せいふう新築工事

3月 東日本大震災(M9.0)

・伏木富山港が日本海側の「総合的拠点港」に認定

2012

平成24年

- 2月 石崎弘元社長逝去 合同葬

- 9月 「となみ産業フェア・パワー博2012」開催 ブース出展

○金沢港防波堤本体工事

○伏木富山港東西線付属物設置工事

○能登ARSR局舎新築工事

○ルンビニ園男子棟改築工事

○(株)富山環境整備非加熱無菌育填プラント新築工事

○スーパードーム砺波店新築工事

5月 東京スカイツリー開業

9月 第2次安倍内閣発足

2013

平成25年

- 7月 研修会開催(砺波ロイヤルホテル 一泊)

- 11月 砺波工業ホールディングス(株)(砺波工業(株)の株式保有会社設立)

○北陸新幹線魚津市高架下整備工事

○上中野配水場更新工事

○出町中学校耐震改修事業

○サンエツ金属インキュベーション工房新築工事

○JAとなみ野「たまねぎ」乾燥施設新築工事

2014

平成26年

- 6月 創立70周年式典

○北陸新幹線小矢部五社野端間高架下整備工事

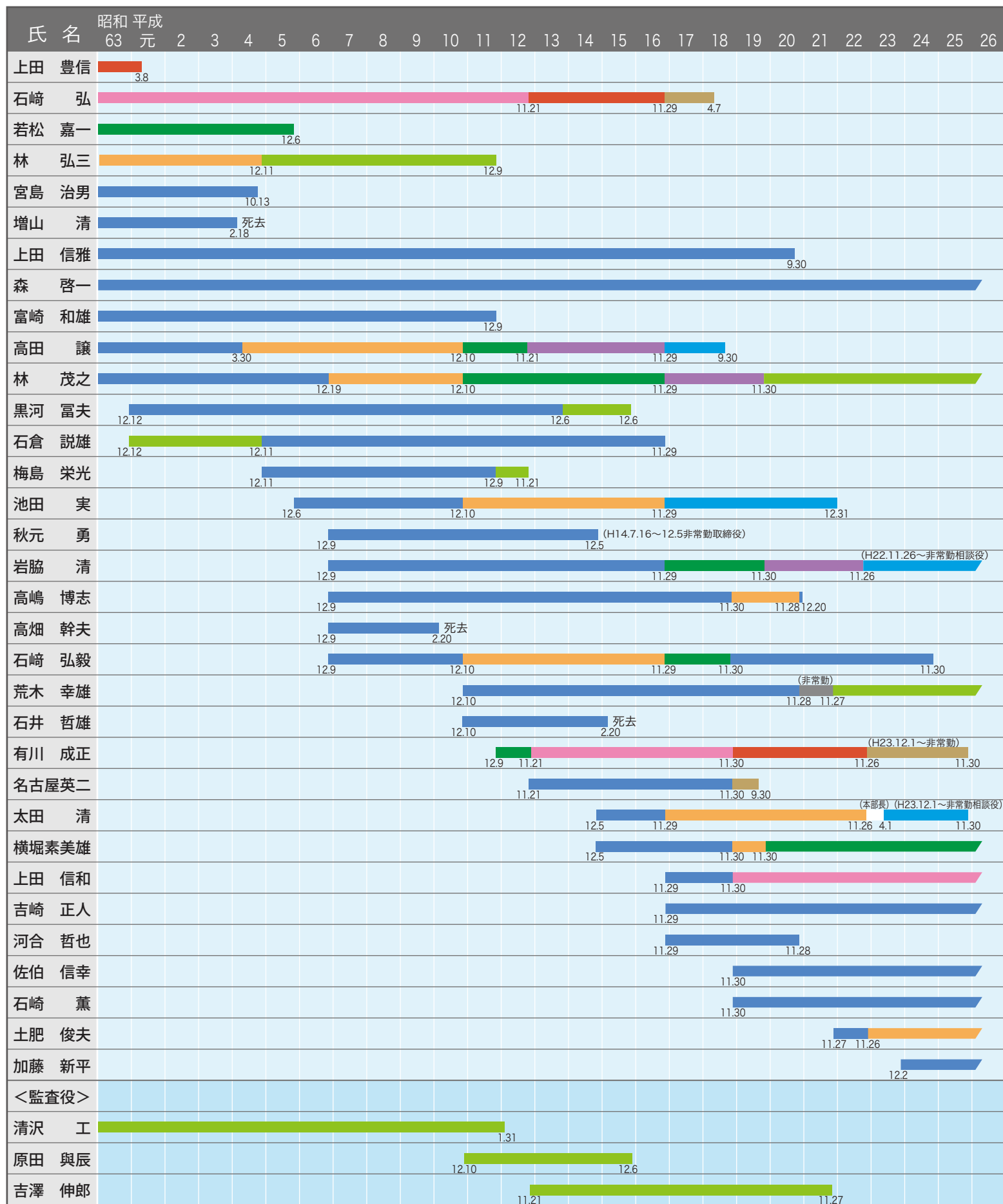
○庄川左岸庄川放水路(吉住工区)その10工事

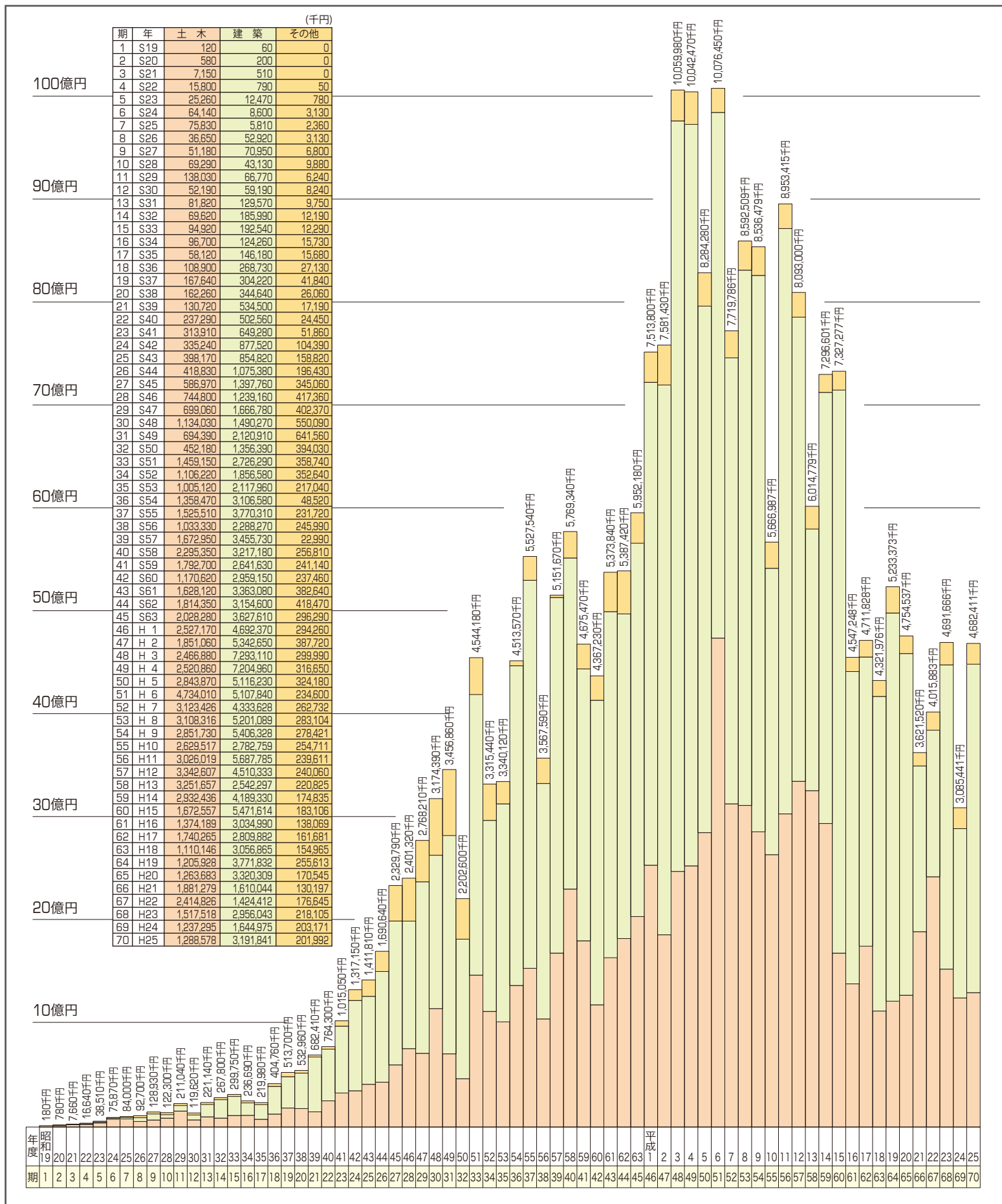
○市立砺波総合病院耐震化整備事業

○サンエツ金属めっき第2工場新築

○松島浄水場更新事業設計・施工一括発注工事

■ 会 長 ■ 社 長 ■ 副社長 ■ 専 務 ■ 相談役
■ 常務取締役 ■ 取締役 ■ 監査役 ■ 参 事 ■ 顧 問





土木



伏木富山港道路東西線橋梁付属物設置等工事



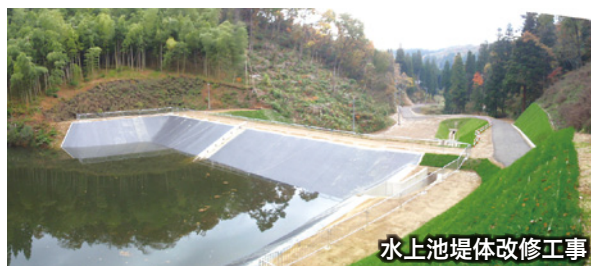
伏木富山港道路東西線橋梁付属物設置等工事



北陸新幹線 富山水橋新堀高架橋



伏木テトラ



水上池堤体改修工事



立山砂防 水谷沢下流山腹工事



金沢港防波堤本体工事



小牧地区急傾斜地崩落対策法面工事



利賀ダム工事用道路(1工区)工事



北陸新幹線 常願寺川橋梁



太陽光発電基礎工事



利賀ダム中の谷復旧(4工区)工事



万葉大橋高欄



経田護岸災害復旧工事



かんがい排水砺波中部2期地区砺波神島調整池工事



新長大橋下部工事

建 築



JAとなみ野たまねぎ乾燥施設



能登ARSR局舎



ちゅうりっぷ保育園



サンエツ金属インキュベーション工房



砺波市立出町中学校



コーセル株立山工場増築工事



市立砺波総合病院



特別養護老人ホーム やなせ苑



となみ三輪病院



砺波市立北部小学校



高齢者向け住宅 新庄ヒルズIII



地域密着型複合施設 せいふう



となみ野歯科診療所



スーパードーム砺波店

経営理念

“信用と技術と知恵を基本とし、会社の持続的発展を図り
社会の繁栄に貢献する”

- 一、法律など社会の決まりを守ります。
- 一、顧客には誠意を持って対応します。
- 一、よりよい品質をより安く提供するために品質管理と財務管理と創意工夫に努めます
- 一、安全管理を常に優先します。
- 一、環境には常に配慮します。
- 一、地域への貢献に常に努めます。
- 一、情報開示に努めます。

品質方針

・要求事項へ適合させる決意

顧客要求事項に技術で応え、感動につながる仕事を行う

・目標の設定、達成、レビューを繰り返すことで品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善する決意

不適合の原因を究明し社内に周知することにより技術レベルを向上させる

・次世代を担う技術者育成教育を積極的に行い、会社を継続的に発展させる決意

社員教育を計画的に行い次世代の技術者を育成することにより、会社の継続的発展を図る

2014年4月1日

環境方針

砺波工業株式会社は、土木工事及び建築工事の設計・施工活動を通して、次代を担う子供たちに残す地球環境の保全の一助となるように、この環境方針を定め全社員によって維持します。

- 1、私たちは企業活動によって生じる環境影響を評価し、技術的、財務的に可能な範囲で環境目的、目標を設定し、その達成に向けて努力し、かつ定期的に見直して継続的改善に努めます。
- 2、私たちは企業活動によって生じる資源、エネルギーのロスを出るだけ少なくし、汚染の予防を積極的に行ないます。
- 3、私たちは環境に関する法規制、顧客及び地域社会との約束を遵守します。

2014年4月1日

安全衛生方針

砺波工業株式会社は、企業活動に関わるすべての人々の安全を優先し、労働災害の防止を図り、健康で快適な職場環境を形成するために、以下の事項の重要性を認識し、確実に実行することによって労働安全衛生マネジメントシステムの維持と継続的な改善に努める。

- 1、全社員の安全と健康を確保して、ゼロ災害の達成を目指す。
- 2、全社員の協力を得て、本社と作業所と協力会社は良好なコミュニケーションを図り、安全衛生活動を実施する。
- 3、労働安全衛生関係法令及び当社の安全衛生に関する規定を守る。
- 4、当社の定めた労働安全衛生マネジメントシステムを適切に実施し、継続的な安全衛生水準の向上に取り組む。

砺波工業株式会社の全社員は、この安全衛生方針を十分に理解するとともに、システムを確実に実施・運用し、災害防止に邁進することを表明する。

2014年4月1日

主な受賞・入賞記録

【安全その他部門】

- S・58 通商産業大臣賞 火薬類取扱優良事業所として
- S・58 労働大臣賞 建設業雇用改善優良事業所として
- S・59 労働省労働基準局長表彰 無災害記録170万時間達成
- S・59 富山労働基準局長から 労働安全進歩賞
- H・13 国交省北陸地方整備局長表彰 建設労働安全
- H・15 国交省北陸地方整備局長表彰 建設労働安全
- H・17 国交省北陸地方整備局長表彰 建設労働安全
- H・20 国土交通省大臣顕彰 建設産業人材確保・育成推進功労により
- H・13 日本道路公団北陸支社管内保全工事等安全衛生協議会 安全表彰
- H・15 日本道路公団北陸支社管内保全工事等安全衛生協議会 安全表彰
- H・16 日本道路北陸支社管内 安全表彰
- H・22 鉄道建設運輸機構 北陸新幹線常願寺川橋梁工事 安全表彰
- H・23 中日本高速道路㈱ 北陸自動車道富山管内構造物補修工事 安全表彰
- H・24 鉄道建設運輸機構 北陸新幹線新黒部信通機器室新築工事 安全表彰

【土木部門】

- (社)全日本建設技術協会 全建賞 一般国道156号道路改良事業
- 建設省北陸地建優良工事 最優秀施工賞 水谷沢床固工事
- 建設省北陸地建富山工事事務所長賞 表彰 能越自動車道 矢部道路その2工事
- 国土交通省北陸地方整備局長賞 表彰 水谷沢山腹工(その2) 工事
- 国土交通省北陸地方整備局長賞 優良工事表彰 利賀ダム 工事用道路(5工区)その2工事
- 国土交通省北陸地方整備局長賞 表彰 中の谷復旧(4工区) 工事
- 国土交通省北陸地方整備局長賞 表彰 新長大橋下部工事
- 国土交通省北陸地方整備局長賞 伏木富山港事務所 優良工事表彰 伏木富山港(新湊地区)道路(東西線)盛土工事(その1)
- 国土交通省北陸地方整備局 伏木富山港事務所 優良工事表彰 伏木富山港(新湊地区)道路(東西線)付属物設置工事
- 富山県建設優良工事 知事賞 井栗谷トンネル工事
- 富山県建設優良工事 知事賞 横江宮川用水路第5工区工事
- 富山県建設優良工事 農地林務部長賞 法林寺トンネル建設工事
- 富山県建設優良工事 知事賞 境川ダム建設工事
- 富山県建設優良工事 知事賞 庄川水系和田川砂防改良砂防ダムその2工事
- 日本道路公団北陸支社 感謝状 北陸自動車道庄川耐震補強工事
- 富山県建設優良工事表彰 農林水産部長賞 ため池整備水上池堤体改修工事

【建築部門】

- 建設省中部地建局長賞 入賞 砺波税務署庁舎新築工事
- 建設省関東地建局長賞 入賞 砺波公共職業安定所建築工事
- 中部建築賞 最優秀賞 松村記念館新築工事
- 中部建築賞 入賞 富山県砺波青少年の家新築工事
- 中部建築賞 入賞 県立高岡高等学校校舎改築工事(JV)
- 中部建築賞 入賞 ニチマ倶楽部ホテル新築工事
- 中部建築賞 入賞 富山県こどもみらい館新築工事(JV)
- 中部建築賞 入賞 砺波市出町子供歌舞伎曳山会館新築工事
- 中部建築賞 入賞 富山県消防学校・防災拠点施設 屋内訓練・備蓄倉庫棟新築工事
- 富山県建築優良工事 知事賞 富山県薬事研究所研究棟新築工事
- 富山県建築優良工事 知事賞 県立大学一般校舎棟新築工事
- 富山県建設優良工事 土木部長賞 県営住宅太閤山東団地第2期建築主体2工区工事
- 富山県建設優良工事 土木部長賞 富山県消防学校・防災拠点施設 屋内訓練・備蓄倉庫棟新築工事
- 富山県建築賞 入賞 射水神社参集殿新築工事
- 富山県建築賞 入賞 富山県営総合体育センター新築工事(JV)
- 富山県建築賞 入賞 砺波チューリップ四季彩館新築工事(JV)
- 富山県建築賞 入賞 砺波市立出町小学校新築工事(JV)
- 富山県建築賞 入賞 県営住宅太閤山東団地第2期建築主体2工区工事
- 富山県建築賞 入賞 知的障害者更正施設 花椿 新築工事
- 富山県建築賞 入賞 富山県西部体育センター新築工事(JV)
- 富山県建築賞 入賞 富山県消防学校・防災拠点施設 屋内訓練・備蓄倉庫棟新築工事
- うるおい環境とやま賞 砺波市立出町小学校
- うるおい環境とやま賞 出町子供歌舞伎曳山会館 建築事業建築主体工事
- 高岡市 景観賞 若草クリニック新築工事
- 高岡市 景観賞 立浪眼科医院新築工事

砺波工業の歌

上田豊信 作詞
堀田政二郎 作曲

一、どんとやろうぜ庄川の水に鍛えた根性度胸
 国土開発この腕に
 男冥利の男
 男冥利のおいらのつとめ

二、霊峰雄山を仰ぎみて
 でっかい仕事に男をかける
 意気と力の見せどころ
 砺波工業
 砺波工業おいらのほこり

三、至誠 責任 団結に
 集う男の闘志は燃える
 ともに歌おう肩組んで
 砺波工業
 砺波工業おいらの歌を

会社概要

- ・社名 砺波工業株式会社
- ・創業 昭和19年5月5日
- ・資本金 1億8150万円
- ・国土交通大臣許可(特-24)第1920号
 土木工事業、建築工事業、大工工事業、とび・土工工事業、管工事業、
 鋼構造物工事業、鉄筋工事業、ほ装工事業、造園工事業、水道施設工事業
- ・一級建築士設計事務所、知事登録第(11)83号
- ・宅地建物取引業 知事登録(9)第1369号
- ・特定労働者派遣事業 特16-300142

事業所・関連会社

本店	〒939-1375	富山県砺波市中央町3番21号
		TEL: 0763-32-3105 FAX: 0763-32-3887
本社	〒933-0858	富山県高岡市泉町2番40号
		TEL: 0766-22-3467 FAX: 0766-23-8698
富山支店	〒930-0085	富山県富山市丸の内2丁目4番13号
		TEL: 076-425-7240 FAX: 076-425-7241
金沢営業所	〒920-0024	石川県金沢市西念2丁目17番18号
		TEL: 076-231-5668 FAX: 076-231-5670
上越営業所	〒942-0061	新潟県上越市春日新田2-5-15
		TEL: 025-531-2533 FAX: 025-531-2534
射水営業所	〒939-0351	富山県射水市戸破若宮3046番地1
		TEL: 0766-55-3600 FAX: 0766-55-5701

富山菱光コンクリート工業(株)
 (株)トナミ鉄工
 (株)砺波中央興業(アクロス中央自動車学校)

事業目的

- 1 土木建築工事その他建設工事全般の請負、企画、測量、設計、施工、監理及びコンサルティング
- 2 地域開発、都市再開発に関する調査、研究、評価、診断、企画、測量、設計、監理、技術指導その他総合的マネジメント(CM)
- 3 土地の造成、住宅等建物の建設及び不動産の売買、賃貸借、仲介、保守、管理、鑑定、評価及びコンサルティング並びに植林及び緑化事業
- 4 住宅等建物の内装、外装、設備のリフォーム、及び企画、設計、保守、管理及びメンテナンス

技術者数

監理技術者数	52名	1級建築施工管理技士	28名
測量士	1名	1級管工事施工管理技士	2名
1級土木施工管理技士	30名	2級管工事施工管理技士	2名
2級土木施工管理技士	4名	1級造園施工管理技士	1名
一級建築士	12名	2級建設機械施工管理技士	1名
二級建築士	10名	2級建築施工管理技士	1名



URL <http://www.tonamikogyo.co.jp>

創立70周年記念誌